

情報交差点・心と心の交わり

あじまへ

大宜味村教育委員会

電話 44-3006

FAX 44-3020



優勝!!

大宜味小学校ミニバスケットCチーム



第52回辺土名地区ミニバスケットボール交歓会

5月15日（土）、大宜味小学校において第52回辺土名地区ミニバスケットボール交歓会が行われ、大宜味小学校Cチームが見事優勝を収めました。

出来立てほやほやの大宜味小Cチーム。バスケットボールの練習を始めたばかりの選手もいる中での快挙となりました。「とにかくシュートを狙う」ことを心掛け試合に臨んだ選手たち。他のチームと比べてもボールを持つ回数も多く、全員にボールが回り、相手チームを終始圧倒する試合展開となりました。

試合をふり返り「一人一人の勝ちたい気持ちが強かったことが勝因に繋がった」と話す監督の志良堂寛太さん。選手たちの活躍を喜びました。

チーム結成早々勝利をつかんだCチーム。今後のますますの活躍に期待します。

使ってみよう！やってみよう！先生たちの勉強会 ICT研修会

5月6日（木）に中学校で株式会社興洋電子ICT支援員の金城瞳さん、19日（水）に小学校で文部科学省指定ICT活用教育アドバイザーの大城智紀先生、両日ともに小中学校ICT支援員の照屋美智代先生を講師に教職員を対象としたICT研修会が開かれました。

今回は情報端末機材の管理のしかたから実際に授業などで活用するChromebook、カメラの機能などの体験、データの保存方法や管理のしかたなどを学びました。

ICTを活用した授業は今年度から始まったばかりの新しい試みです。教える側の先生方もまだわからないことや知らないこともあるため、今回のような研修会を行い勉強しています。



新しいことを取り入れ、授業に生かしていくのは簡単にできることではないですが、先生方も子どもたちと一緒に焦らず学び進めていけたらいいと思います。

新しいことを取り入れ、授業に生かしていくのは簡単にできることではないですが、先生方も子どもたちと一緒に焦らず学び進めていけたらいいと思います。

よりよい授業をつくるため、先生方で勉強会 小学校担当者研修会



5月21日（金）、大宜味小学校理科室において令和3年度国頭地区小学校教科担当者研修会（理科）が行われました。

教科担当者研修会は先生の勉強会。授業力向上や授業改善を図ることを目的に行われています。本来なら国頭地区の先生方が授業を見学に来ますが、コロナウイルス感染拡大防止のため、今回はオンラインでの研修会となりました。この日の授業は宮里努先生による

4年生の理科。閉じ込めた水は押し縮めることができるのか、前回の授業で実験した閉じ込めた空気の結果と思い出しながら、予想を立て、注射器に入れた水を使って実験をしました。

予想を立てる時はその根拠となる理由もあげます。押し縮めることができると予想した子どもたちは「押し縮めると水が少なくなるから」、「押し縮めるときに力を使い、水も少し蒸発する」、できないと予想した子は「空気は軽いけど、水は一つのかたまりみたいになっているから」、「中に飲み物が入っているから」と理由を挙げました。

さてさて結果は？注射器に入った水を押し縮めようとすると、動かない、頑張って押し試してみても押し切れない。水は押し縮められないということがわかりました。予想と違って驚く子や予想通りで喜ぶ子も。オンラインで授業を見学していた他校の先生たちも児童たちが考え、楽しんで授業に取り組む姿を見ることができました。

授業後には研修に参加していた先生方でワークショップ。今回の授業の良かったところや、真似したいところ、自分たちの授業で困っているところなどを出し合いました。

子どもたちがわかりやすく、よりよい授業にするため、先生たちも日々勉強し、努力しています。



商品をみんなに知ってもらうために今できることを考える 大宜味中商品開発授業



5月12日（水）、大宜味中学校で商品開発授業が行われました。昨年、1年生の時に作ったクワサーcup。今年はできあがった商品を売るための授業を行います。

本来なら、コープおきなわの店舗に出向き、実演販売をするための方法を学びますが、まだまだコロナの影響もあり、どのスーパーマーケットも対面販売や試食販売ができない状況。そこで、コロナ禍でもできる商品の周知のしかたを考える授業に切り替えました。

仏壇菓子として村民、県民に愛される商品、おみやげとして観光客に喜ばれる商品がクワサーcupのコンセプト。そこでまずは多くの村民に知ってもらうことを目的にどのような方法があるかをみんなで考えました。

これまでの授業同様、考えて、まとめて、発表して、話し合った結果、「村内放送（行政無線）を利用した周知」と「リヤカーを使った各字でのPRと販売」に決まりました。

これからお盆に向け、クワサーcup売り出し方を考え、販売に

向け準備を進めていきます。大宜味中の生徒たちが村を元気にしたいという思いで開発したクワサーcup。村民のみなさんにお披露目できる日も近いかも。発売日は追ってお知らせいたしますので、応援よろしくをお願いします。



まず知ることが大事… 大宜味村学力向上推進委員会総会・講演会

5月19日（木）、大宜味小学校多目的室において大宜味村学力向上推進委員会総会・講演会が開催されました。

総会では学習支援部会、社会力育成部会、学推事務局からそれぞれ令和3年度の学推活動計画が提案されました。

今年度はコロナウイルス感染拡大防止のため規模を縮小しての開催となりましたが、小中PTSA会長、副会長、区長会長、教職員など約30名が参加。

総会后には講師に文部科学省指定ICT活用教育アドバイザーの大城智紀先生を招き「GIGAスクール元年 さらさらの『子ども達の学び』を変える一人一台情報端末の必要性と活用について」の演題で講演会が開かれました。



大城先生は「GIGAスクール構想の実現のためには1人1台の情報端末やネットワーク環境の整備はもちろんのこと保護者、地域、行政の支え、理解がなければ成立しない」と伝えました。

今年度から始まったICT活用教育。テレビや新聞で言葉は聞いたことがあっても、わからないことも多く、実際に活用する児童・生徒、先生方を始め、保護者も難しく考えてしまったこともあったと思います。今回の講演会はICT活用教育を理解するいい機会になったと思います。



戦場の子どもたち



沖縄県公文書館

自称14歳の捕虜



沖縄県公文書館

泣き声で敵に見つかり母親は子供の首を絞めたが幸いにも子供は生き残った



沖縄県公文書館

栄養失調の子供の体を拭く母親



沖縄県公文書館

手当てが済み籠に入れられた幼児



父親と一緒に隠れていた小さな穴から引っぱり出される女の子（サイパン）



収容所の病院で日光浴をしている子供たち



一人で前線の森林地帯をさまよっていたところを保護された子供（テナン）



戦場をさまよっていた幼い三人の子供（サイパン）



沖縄県公文書館

子供を抱いてビーチ沿いを収容所に向かって歩く母親（サイパン）



村史編さんだより

第122号 2021年6月1日 大宜味村村史編纂係44-3009

学び、語り継ごう 一大宜味村の戦争体験

太平洋戦争において、沖縄における日本軍の組織的な戦闘が終結したとされる1945年6月23日から今年で76年を迎えます。大宜味村では、今後を生きる者達が二度と同じ過ちを繰り返さないためにも、村内の先輩方が体験した壮絶な戦争の記憶に耳を傾け、次世代へ語り継いでいって欲しいとの思いで『新大宜味村史戦争証言集 渡し番一語り継ぐ戦場の記憶』（2015年）を発刊しました。本書は希望者に無料で進呈しております。まだ読んでいない方は、平和について考え、学ぶ機会にしてみたいかがでしょうか。お問い合わせは村史編さん係まで。（電話 44-3009）

沖縄戦と犠牲者…日本軍とアメリカ軍だけでなく住民すべてを巻き込んだ戦いが、沖縄では3か月以上続きました。この沖縄戦によって9万4千人もの県民が犠牲になりました。糸満市摩文仁にある「平和の礎」には犠牲になった大宜味村民1,480名（令和2年6月現在）の名前が刻まれています。



もくじ

魂魂之塔（忠魂碑）
口絵
発刊のことば



「憲法九条」の意味を今いちど——序文にかえて
漂流六日間 学童疎開船「対馬丸」 遭難事件生存者
……………平良啓子

凡例／心のたんぼぼ／新大宜味村史戦争証言集

一田嘉里一
計り知れない母の悲嘆と苦勞を思う……………山城栄三
トランクいっぱい遺骨を抱いて帰った父……………山城和子
イクサの置き土産で“禁じられた遊び”……………仲原永有
転戦転戦で命をすり減らした過酷な七年間……………玉城深福

一謝名城一
目の前で敗残兵掃討 下山時の恐怖……………平良美津
戦前・戦中・戦後を区のために奔走……………平良蔵健
恩納岳から逃避行二か月 シマの目前十メートルで命拾い
……………平良真豊

兵隊行かんしやツニンギンアラン……………前田孝昌
謝名城で一軒だけ燃やされた家……………大城嘉武

一喜如嘉一
非業の死を遂げた二人の兄……………吉浜初枝
公人に徹した父の面影……………金城ちよ
ウーマター少年の目に映ったイクサ……………山城重美
パラオの思い出と引き揚げ後の生活……………山城あき子
南洋から持って来た晴れ着をイモと交換……………山城静江
幼い目に焼き付いた日の丸の腕章……………平良真良

一饒波一
山中のガマに避難……………前田仲喜
戦後は「ヌーハ」が通行証の代わり……………金城ヨシ
殺気立ったアメリカ兵に囲まれ命が縮む思い……………崎山喜弘
汽車で十二時間の冒険（※紡績での体験）……………仲井間幸子

一大兼久一
至近距離に米兵、寝ている弟を抱いて石になる……………平良森雄
自分も泣きながら妹達をあやす……………平良キク
男という男はみんな兵隊に……………山川カツ
終戦直後の混乱の中、父の遺骨を求めさまよう……………奥島菊江

一大宜味一
目の前に落ちた艦砲弾が発射で命拾い……………宮城長清
戦場の露と消えた二人の兄……………平良松信

一根路銘一
米軍のシェパードに追われ必死に逃げる……………平良栄吉
臨月のお腹を抱え山で出産……………朝稲喜代
小学生も徹夜作業……………平良盛購
何度も夢に見て飛び起きた空襲の記憶……………平良とみ

一上原一
戦を生き延びた命をマラリアが次々に奪う……………友寄秀子
南部の激戦地を三か月さまよう……………友寄景喜

一塩屋一

自給自足で満ち足りていた戦前の暮らし……………宮城キヨ
恩納岳で艦砲の雨を潜り抜けて……………宮城萬元
暮らしの中に迫る戦争の影……………宮城ハル
空腹にたえられず布団の中で大根をガリガリ……………山城タケ
紡績の思い出とイクサ場の沖縄……………米須ミエ
運命を分けた出征の日の空襲と山中の百日……………宮城光則

一屋古一

今でも夢に見るイクサの恐怖……………真謝利子
率先して竹槍を握る愛国心の塊……………宮城ハツ
徴用に明け暮れ戦火に追われた青春……………宮城キヨ
紡績から帰っても家はなく収容所へ……………山川トミ
突然押し入ってきた黒人兵の恐怖……………前田ヨシ子

一田港一

紡績の友に助けられた戦後の収容所生活……………我那覇ツネ
幼い娘と奥山で息をひそめた避難生活……………松本清
出稼ぎ先から流転・流転……………山城亀松
苦勞して山に上げた米は友軍に奪われ……………山城トヨ
海を渡った励ましの恋文……………松本フジ子

一押川一

押川・戦時点描……………仲本宗一
幼子の手を引き山の中で長男出産……………徳田ナエ
アメリカ兵に囲まれタマシヌギル……………友寄重吉
静かな山での暮らしをかき乱す戦の影……………平良信子
すぐ近くで掃討戦……………具志堅朝徳

一大保一

大家族の労働力として働きづめの青春時代……………平良美津子
伊江島徴用で空襲に追われる……………崎山ヨシ
体が大きく海軍に推される……………上地安広
伊江島で十・十空襲 墓の中で骨壺を抱いて眠る……………上地京子
一白浜一
武器も食料もけた違い—それでも日本は勝つ—宮平房子

一宮城一

一回目の徴用で十・十空襲、二回目の徴用は上陸と重なる……………辺土名清子
年老いた両親を支えながらの避難生活……………辺土名富
兵隊はハガキ一枚の消耗品……………辺土名朝清

一津波一

“イキグワングワや宝”位牌になった兄たちと話す父の背中……………上間正善
日本兵が奪っていった父の望遠鏡……………中曾根善子
一番怖かったのは日本兵……………宮城恒光
米兵に驚いて海に転落—悲しすぎる妹の死……………田村シゲ

一寄稿一

戦時下の青春……………平良真平
疎開者の文章……………知念一
疎開者の体験聞き取り
“毒入り”と恐れていた食糧を奪い合い……………大村政善

用語解説／謝辞／証言者一覧（敬称略・五十音順）
／主要参考文献

大宜味村史企画展

命どう宝”の遺伝子を受け継ぐために 私たちが知らなければならないこと

期 間：令和3年6月21日（月）～7月20日（火）

場 所：第1会議室（旧大宜味小学校つどい室）

（側面のガラス窓に展示、外から自由にご覧ください）

内 容：写真、年表、証言（印字）、物（水筒、突撃ラッパ、千人針など）、
関連書籍等の展示及び希望者への『新大宜味村史戦争証言集』の配布
（戦争証言集配布については土日祝日を除く9時～17時）

問合せ：大宜味村教育委員会村史編さん係 0980-44-3009

※新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言延長の場合は開催日程が変更される場合があります





「しまふとうば」ぬくとう 65



うみがーみー

ウミガメの産卵シーズンになりました。5月27日現在、大宜味村内の砂浜には5回の産卵がかくにんされています。大宜味村にはアカウミガメ、アオウミガメ、タイマイの3種類のウミガメが産卵にやってきました。3種類とも国際自然保護連合（IUCN）と環境省のレッドデータブックで絶滅危惧種に指定されています。IUCNではアカウミガメとアオウミガメが絶滅危惧1B類（最近10年間または3世代の間に50%以上数を減らした種）、タイマイが絶滅危惧1A類（同80%減らした種）としており、国際的に絶滅の危険性が高いことが認識されています。

今年の3月に美ら海水族館の河津氏による「沖縄島におけるタイマイの産卵状況と繁殖生態」と題した論文が沖縄生物学会誌に掲載されました。1987年から2017年までの30年間の沖縄本島におけるタイマイの産卵状況の調査結果が示されています。タイマイはこの30年間の産卵は僅か28回しか確認されていません。アカウミガメ、アオウミガメに比べるとおそらく十分の一以下だと思えます。28回のうち16回（約60%）が大宜味村での確認です。他は本部町5回、国頭村2回、その他となっています。沖縄本島内では大宜味村がタイマイの主要な産卵場所であった、ことが確認されました。大宜味村に産卵するタイマイはたったの1頭です。マイ子と呼んでいます。マイ子は2002年、2005、2008、2011、2016年に産卵を確認しました。3年から5年間隔で大宜味に来ています。今年は2016年から5年目になり、5年ぶりに会えるか楽しみです。

やんばるの山が世界自然遺産登録・・・と騒がれていますが、山、川、浜、海まで地域の環境すべてが貴重なのでは・・・と浜でのキャンプに興じる人間を避けながら産卵という命をつなぐ営みをしているウミガメたちは思っているのでは？・・・と考えたりします。



2021年 ウミガメ情報（5月27日現在）

NO	海岸名	上陸・産卵日	脱出(ふ化) 予想日数	脱出(ふ化) 予想月日	種類
1	活性化センター	4月24日	65日±5	6/28±5	アカウミガメ
2	塩屋漁港裏	4月24日	65日±5	6/28±5	〃
3	塩屋漁港裏	5月11日	62日±4	7/12±4	〃
4	津波	5月11日	62日±4	7/12±4	〃
5	活性化センター	5月23日	60日±3	7/22±3	〃

～お願い～

ウミガメの産卵が始まりました。
浜での足跡などに気づきましたら教育委員会まで情報提供をお願いします。

今月の生きもの

アオタテハモドキ：タテハチョウ科



↓♂成虫



↑♀成虫

こんにちは。私たちアオタテハモドキです。
きれいな青色がめで、少し渋めの褐色が♀です。
模様も鮮やかで、どちらもきれいでしょ？
私たちは温かい（暑い？）時間帯に明るい場所を低く滑空したり、花の蜜を吸ったりして過ごしています。地面に止まっていることもあり、見かけた人も多いのではないのでしょうか？
止まっている時はよく翅を広げているからわかりやすいかも。

6月の行事予定

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1日（火）区長会 | 22日（火）（小）学校計画訪問 |
| 4日（金）（小）プール開き | 23日（水）沖縄慰霊の日 |
| 5日（土）（中）地区中体連 ～6日、12日 | 24日（木）（園・給七）学校計画訪問 |
| 11日（金）（園）保育参観（園開放日） | 24日（木）定例教育委員会議 |
| 13日（日）（小・中）日曜参観 | 26日（土）わんぱく体験団② |
| 14日（月）（小・中）振替休日（6/13） | 26日（土）地区ミニバスケ交換会 ～27日 |
| 17日（木）（小）平和集会 | 27日（日）国頭郡サッカー大会 |
| 21日（月）（中）学校計画訪問 | 28日（月）夢語るウィーク ～7/2 |



梅雨です。朝、晴れていたので洗濯物を干しました。お昼の時点ではまだ乾きが足りない気がして取り込まないでいたら夕方雨が!? あの時取り込んでいたら～。お日様にもう少し頑張っただけ良かった…。タイミングって大事ですね。